

代表質問・議案質疑・一般質問発言通告

3月定例会では、3月2日から3月5日までの4日間、5会派の代表者が代表質問を、議員16名が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に項目を整理し、6ページから11ページにかけて掲載しています。

会派等	質問者	質問項目	会派等	質問者	質問項目	
自民クラブ	荳田 元近	代表 1 平成27年度施政方針及び当初予算について	公明党西条市議員団	黒河 紘一郎	代表 1 市長の施政方針について 2 認知症対策の取組について	
	伊藤 孝司	一般 1 「新エネルギー政策発祥の地」としての取組について 2 交通道路網の拡充整備について		越智 絹恵	一般 1 いじめ防止の取組について 2 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)について	
	一色 輝雄	質疑 1 心身障害者扶養共済費について		岡村 重治	代表 1 平成27年度施政方針及び当初予算について	
	西坂 壽	一般 1 任期付職員の採用について		西条市民クラブ	佐伯 利彦	質疑 1 生活困窮者自立支援事業について 2 市立保育所・小中学校等支援員配置事業について
	坪井 剛	質疑 1 西条うちぬき倶楽部推進事業について 2 地域課題研究機関設立検討事業について 3 埋蔵文化財整理保存施設管理運営事業について			一般 1 市民活動の推進について	
新政クラブ	武田 功	代表 1 市政運営の在り方について 2 東予港湾施設の整備について 3 教育問題について	会派に属さない議員	青野 貴司	質疑 1 西条市簡易水道条例及び西条市水道事業給水条例の一部を改正する条例について 一般 1 日本共産党衆議院議員団が今年1月26日衆議院に提出した「政党助成法廃止法案」について問う 2 小学生から中学卒業するまでの子どもの医療費完全無料化制度の実現を求める 3 住宅リフォーム助成制度の実現を求める 4 原水爆禁止日本協議会が主催する原水爆禁止世界大会及び原水爆禁止日本国民会議が主催する原水爆禁止世界大会への参加旅費4万円(各2万円)の補助を継続すべきではないか 5 学校給食の在り方について問う	
	越智 俊幸	一般 1 丹原中央公園の整備について		本藤 重一	質疑 1 放課後子育て・学習サポート事業について 2 私立幼稚園施設型給付事業について 3 私立幼稚園就園奨励事業について 4 サイクリング大会開催事業について	
	白坂 均	一般 1 農業用ため池の整備について			高橋 章哲	質疑 1 生活困窮者自立支援事業について 2 地域自殺対策緊急強化事業について
	井上 浩二	一般 1 第2期西条市総合計画における子育て支援について		一般 1 市民に対する安心感の増進及び窓口サービスの向上策について 2 養育支援事業について		
	川又 由美恵	一般 1 郷士の偉人「松木幹一郎氏」の顕彰について 2 人権施策の推進について				
	リベラル西条	藤井 武彦		質疑 1 サイクリング大会開催事業について 一般 1 インターネット利用環境整備について 2 西条市食育推進計画について		
		越智 啓郎		代表 1 平成27年度施政方針及び当初予算について		
御荘 秀樹		一般 1 発達障害児の療育について 質疑 1 環境基本計画策定事業について				
	高橋 保	一般 1 自治基本条例について 2 切れ目のない子育て支援策について				

自民クラブ

代表質問

地下水保全の方策は？

問1

ふるさとの豊かな水の継承に努める決議(平成17年12月)の精神に基づき、決して「水」は永遠、無限ではなく、保全・継承に努めることが重要である。地下水資源調査の結果を踏まえ、現在、地下水保全上の最大の課題は何か。また、今後、地下水保全管理計画を策定することになるが、どのような施策を盛り込んでいくのか。

答

地下水保全の最大の課題は、5月から9月までの灌漑期に、加茂川の長瀬基準点における流量が毎秒5立方メートルを下回った場合の不足水量の確保であり、解決策の一つとして黒瀬ダムの水の活用を検討する必要があると認識している。活用方法としては、愛媛県の判断に基

づき、不足水量に相当する水量操作を行うことや、黒瀬ダム操作規則の改正、水利権の取得などの方法が考えられる。

地下水保全管理計画は、地下水を地域公水と位置付け、涵養量の増加策や森林の整備、節水、採水規制、水質保全、地下水のモニタリングを柱に総合的かつ計画的な保全策を盛り込んでいきたい。また、市民意識を高める施策については、計画策定段階でより多くの市民、事業者に参加していただき、その過程で意識の高揚を図りたい。



限りある水資源の保全・継承を